

琉球大学学術リポジトリ

研究室紹介（琉球大学農学部農林経営学講座）

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-04-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017195

琉球大学農学部農林経営学講座

本講座は広義の意味での農業の経営・経済的な構造に関する教育と研究を行っている。近年、全国的に大学の農学部における研究分野の改編が行われ、琉球大学農学部でも平成3年度から学科の改組がなされた。そのなかで、従来、農学部のなかにあった農業経営学講座と林学科にあった森林経理学・林政学講座が、農業の経営・経済的な面の研究を行う分野として統合されたのが本講座である。

農業はいうまでもなく、有用な植物及び動物を増殖することによって、人間の生活に必要な物財を供給する産業である。したがって、農業を研究の対象とする農学であっても、生産技術の研究だけでなく、それらの技術を統合し、合理的な生産を行い、食糧や原料を社会に安定的に供給するシステムの研究は不可欠な一分野をなしている。

今日、農学の分野でも細分化が進み、社会や地域農業とのつながりが少なくなっていることが指摘されている。農業の経営・経済的な研究は常に農業生産を国民経済あるいは地域経済の一構成部分として捉えるこ

とを目指している。特に、自然地理条件が日本本土と異なる亜熱帯湿潤気候に属し、また歴史的、社会的にも本土と異なる条件のもとにある沖縄の農業にあっては、このことは重要な課題である。

現在の講座構成員の教育の分担と研究テーマは次のとおりである。農業経済学分野では、教授吉田茂は農産物流通論を中心とした科目の担当と研究を行っている。畜産物の流通から出発し、現在、1) 島しょ環境下における流通問題、2) 地域農業の再編問題の研究に取り組んでいる。助教授福仲憲は農業経営学を中心とした科目の担当と研究を行っている。亜熱帯条件下にある沖縄農業の土地利用体系に関心を持ち、1) 沖縄農業における伝統的な技術体系に関する研究、2) 亜熱帯農業における土地利用方式に関する研究、3) 農業の基盤整備と経営展開に関する研究に取り組んでいる。助教授仲地宗俊は農政学を中心とした科目の担当と研究を行っている。農地の利用整備の問題に関心を持ち、1) 土地所有と利用調整に関する研究、2) 島しょ農業に関する研究に取り組み、さらに、東南ア

ジア地域における農業の展開構造にも関心を広げつつある。

林業経済学分野では、教授篠原武夫は林政学を中心とした科目の担当と研究を行っている。現在、1) 沖縄の森林・林業問題、2) 南西諸島の林業生産・流通問題、3) 東南アジア・オセアニアの林業生産構造の研究に取り組んでいる。助教授安里練雄は森林経理学を中心とした科目の担当と研究を行っている。現在の研究課題は、1) 荒廃林地の森林機能促進技術、2) 亜熱帯性天然広葉樹林の林分構造改善技術、3) 沖縄県産業重要樹種の育林生産技術である。助手仲間勇栄は、従来の林政学の枠を超えた研究領域の拡大を目指しており、1) 森林文化論、2) 森林環境経済論の研

究に取り組んでいる。

近年地球的規模で生態系の破壊が進み、環境問題に対する関心が国際的に高まりつつある。特に、生産を一定の生態系のもとにおける動植物の成長のメカニズムに依存せざるをえない農業にあっては、持続可能な生産のシステムをいかに構築していくかが大きな課題となっている。さらに国内にあっては、ガット・ウルグアイ・ラウンド合意受け入れ後の厳しい国際競争への対応と、条件不利地帯の農業再編が迫られている。

農業生産における個別の技術を経営と経済の立場から統合し、農業を国民経済の一構成体として捉える研究の役割は、今後ますます重要になるろう。

(仲地宗俊)